

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月31日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機原子炉格納容器アクセスルート構築作業における原子炉格納容器の圧力低下について】 1号機原子炉格納容器アクセスルート構築作業において、原子炉格納容器内グレーチング下部の鋼材切断作業のために隔離弁を開け、カメラ治具を挿入し、内部を確認していたところ、原子炉格納容器の圧力を監視していた当直員が圧力の低下傾向を確認。 作業を中断し、カメラ治具を引抜き、隔離弁を全閉後、原子炉格納容器圧力の復帰を確認。 建屋内作業エリアおよび敷地境界近傍ダストモニタの値に問題なし。 今後、原因の調査と対策の検討を実施予定。</p>	GⅢ	8月26日